

TV 特徴 患者さんにやさしい検査を目指して

■被ばくを抑えた安心設計

必要最小限のX線量での検査が行えるように設計されています。

高性能な画像処理技術により、被ばくを抑えながらも鮮明な画像を撮影できます。

■楽な姿勢での検査が可能

検査中は無理な体勢をとる必要が少なく、できるだけ楽な姿勢で検査を受けていただけます。

寝台の高さが低く、乗り降りもしやすいため、ご高齢の方や車いすをご利用の方にも配慮された設計です。

■検査時間の短縮

画像をリアルタイムで確認できるため、検査がスムーズに進みます。

検査時間が短縮されることで身体的・精神的な負担を軽減します。



SIMENS社製



Canon社製

■幅広い診療科での検査・治療で活躍

□内科・外科造影検査

胃透視検査：バリウム（造影剤）と胃を膨らませる発泡剤を飲んでいただき、胃の壁にバリウムを付着させ、充満像、二重造影像などを撮影する事により、胃食道の形態、細かい胃壁の凹凸を詳しく観察することで潰瘍、早期がんを見つける検査です。

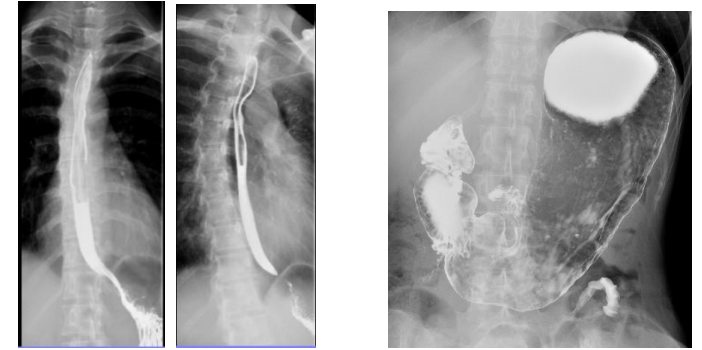
注腸検査：バリウム（造影剤）や空気を肛門から逆行性に注入し、直腸～S状結腸～下行結腸～横行結腸～上行結腸～回盲部まで撮影していきます。この検査も胃の検査同様、大腸の粘膜にバリウムを付着させ、隆起性病変、潰瘍、ポリープ、がんを見つける検査です。

透視下内視鏡：口や鼻から体内にアプローチする内視鏡とX線透視撮影システムを併用することで、開腹手術のように被検者の身体に大きな負担をかけることなく、低侵襲で検査・治療を行えます。

□整形外科造影検査

脊髓腔造影：脊髓腔に造影剤を注入し脊髓、神経根の状態を検査します。椎間板ヘルニア、神経根ブロック等の検査、治療を行います。

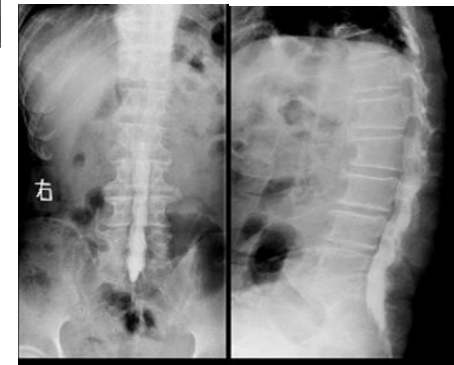
関節腔造影：四肢の関節腔に造影剤を注入し、外傷や脱臼による関節囊、靱帯などの損傷、変形関節症などの検査をします。



胃透視検査



透視下内視鏡
（胆道）

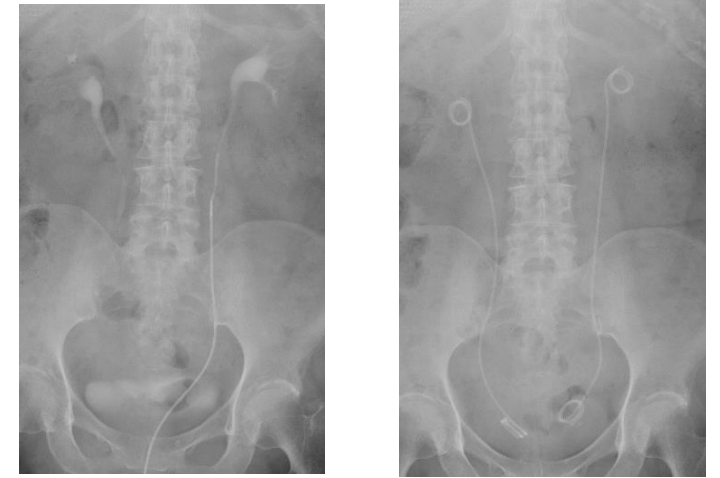


脊髓腔造影

■幅広い診療科での検査・治療で活躍

□泌尿器科造影検査

尿路造影：静脈注射、点滴、尿管カテーテル法により造影剤を注入します。腎盂、尿管、膀胱を造影し結石、狭窄、腫瘍の有無などの検査をします。膀胱、尿道造影：カテーテルを尿道に挿入し逆行的に造影します。膀胱内の器質的病変、排尿異常、尿道病変、前立腺病変の検査をします。



尿路造影

□歯科・耳鼻科検査

嚥下造影検査：飲み込みができない人や、誤飲（食べ物や水分を飲み込んだ時によくむせる）をする人などを対象に、造影剤入りの嚥下食（2～6種類）を食べていただき、透視下でその嚥下食の流れや経過などをみる検査です。



嚥下造影検査

■安心して検査をお受けください